

## 事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報				平成	25	年度
事業番号	837		事業名	若桜鉄道対策費		
担当課	企画課		担当係	若桜鉄道運行対策室		
総合計画に最も関連ある施策	施策	3	自然と共生した快適で安全なまちづくり	連絡先	84-1228	
	施策体系	2	公共交通網の整備	事業区分	□新規	
	主な事業	若桜鉄道対策事業			■継続	
予算区分	款	2	総務費	事業実施主体	■八頭町	
	項	1	総務管理費		□その他	
	目	21	若桜鉄道対策費	計画期間	開始	平成21年度
	事業	837	若桜鉄道対策費		終了	—

### 2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 町が所有する軌道設備		
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 若桜鉄道利用客の利便性向上及び安全安定した鉄道運行の維持。また、若桜鉄道(株)の経営安定化を図るため。		
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載。 地域公共交通確保維持改善事業(国庫補助事業)による、軌道設備の更新。 鉄道施設保守管理業務等による軌道設備の維持管理や駅舎等管理業務。		
事業の手段	どうする方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 軌道設備の更新や軌道設備の維持管理に関しては、若桜鉄道(株)に業務委託を行い実施。駅舎管理等は町で直接管理。		
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 安全で安定した鉄道輸送の確保と公共交通網の整備を行うことにより、町民の利便性の向上が図られる。若桜鉄道(株)の黒字化。		
根拠法令等	1	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし	法令等名→ 鉄道事業法

### 3 活動指標、成果指標

活動指標	A	単位	事業の手段を図るものさし
	B		
	C		
	D		
	成果指標	A	単位
B		人	輸送人員
C		千円	若桜鉄道(株)経営収支
D			
D			

### 4 コスト

区分	単位	23年度	24年度		25年度		26年度	27年度	
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	
活動指標	A								
	B								
	C								
	D								
成果指標	A	人	419,801	383,049	395,794	372,185	415,763	416,000	410,000
	B	千円	785	132	△ 4,738	101	△ 10,794	8,284	7,593
	C								
	D								
トータルコスト	千円	115,652	110,614	124,085	122,267	128,528	137,267	137,267	
担当職員数	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
職員人件費	千円	8,200	8,200	8,200	8,000	8,000	8,000	8,000	
事業費	千円	107,452	102,414	115,885	114,267	120,528	129,267	129,267	
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円	13,393	15,667	15,639	18,963	28,435	34,567	34,567
	県支出金(交付金・補助金)	千円	21,733	26,824	21,159	27,917	24,178	27,801	27,801
	地方債(借入金)	千円	9,100	9,000	11,400	10,600	13,300	11,900	11,900
	事業収入(使用料・参加費等)	千円	24,020	24,785	28,651	29,675	27,423	29,274	29,274
	一般財源(単町費)	千円	39,206	26,138	39,036	27,112	27,192	25,725	25,725

## 事務事業計画書兼評価表(B表)

### 5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 25 年度

実施活動内容・ 成果(到達点)	実施活動内容(具体的に)	
	地域公共交通確保維持改善事業(国庫補助事業)による、軌道設備の更新。 鉄道施設保守管理業務等による軌道設備の維持管理や駅舎等管理業務。	
	成果(具体的に)	
	年間を通して軌道の整備や維持管理を実施し、事故等なく安全な運行を確保した。	

### 6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
<b>必要性</b> (町民ニーズ)	13	20	①必要性が高い	医療機関や冬場の大量輸送を確保する上でも、必要性は高いと思われる。郡家～鳥取間の便数確保にも貢献している。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
<b>妥当性</b> (町が行わなければならないか)	13	20	①町が行わないといけない	鉄道再構築事業計画にて、平成30年度までは、上下分離方式での運行を確保していることから、妥当と思われる。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
<b>効率性</b> (コスト削減の余地は無いか)	7	20	①効率的である	装置産業の宿命から、効率性の点では不利な条件をもと持っている。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
<b>緊急性</b> (他事業に優先し実施する必要があるか)	13	20	①緊急性が高い	鉄道軸は八頭町を貫いており、重要な交通網であると思われる。また、鉄道を運行することで、定住対策にも寄与している。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
<b>成果</b> (目的の達成状況)	7	20	①成果が上がっている	鉄道利用者の利便性向上と安全な輸送を確保しているが、若桜鉄道(株)の経営赤字が課題である。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
<b>3</b>	1、拡充する	80点以上	<b>53</b>	利用者の利便性向上と安全な輸送を確保しており、快適な住民生活の安定に寄与している。しかしながら運行を実施している若桜鉄道(株)は、平成25年度も赤字決算となり、赤字解消のための営業努力や歳出削減策の実施が必要である。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	<b>3</b>	
	4、見直しの上縮小する	40～49点		
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
<b>3</b>	1、拡充する	若桜鉄道は、八頭町を貫く重要な交通網であります。少子高齢化等で利用者が減少しており、平成24年度、平成25年度共赤字決算となりました。しかしながら、町民の利便性向上と安全な輸送を行い、快適な住民生活の確保のため必要な輸送手段であります。今後、赤字解消のための営業努力や歳出の削減などの努力が必要であります。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

### 7 課題及び今後の方向性

課題	事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所  若桜鉄道(株)の経営黒字化を図らなければならない。少子化により旅客数の減少が著しい中、運行側の経費削減の努力が必要と思われる。
今後の方向性	上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか  ツアー誘致や営業外収入の増加を図り、強力な乗車運動と支援活動を展開する。